

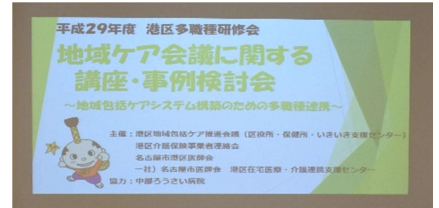
名古屋市医師会 港区在宅医療・介護連携支援センターニュース

Vol.12 平成29年11月1日発行

地域包括ケア研修会を開催

10月3日(火) 中部労災病院にて、多職種研修会「地域包括ケアに関する講座・事例検討会」を開催しました。今回は、講師に日本福祉大学中央福祉専門学校校長の長岩嘉文氏をお招きし、当日は、86名の方々にご参加いただき、模擬担当者会議等を開催のうえ、課題の抽出・検討を行いました。

今回は、12月19日(火)に開催予定です。是非、ご参加ください。



結核研修会を開催

10月26日(木) 多職種研修会「高齢者のかかりやすい病気シリーズ」において、『結核なんてこわくない』と題した研修会を開催しました。港保健所との合同企画として、今回は大同病院 理事長の吉川 公章 先生にお越しいただき、結核に関する基礎知識を始め、診断と治療についてご講演いただきました。当日は43名の医療・介護関係者の方々にご参加いただき、港区の結核の現状についても話し合われました。



今回は、11月7日(火)に歯科医師会と合同で、『食べる～肺炎予防と歯科診療の役割～』を開催予定です。参加をご希望の方は、当センターまでご連絡ください。(TEL:052-652-0874)

写真展いよいよ来月開催!

今年度、港区在宅医療・介護連携支援センターでは、「ともに生きる、ともに暮らす」と題した写真展を開催します。本展では、高齢者の皆さんの豊かであたたかな暮らしの情景を、写真を通して表現します。

本写真展では、港区の皆様からの公募や、鯉城大学OBの写真同好会の皆様に撮影していただいた写真を展示します。写真展は、下記イベントにて開催しますので、是非、お越しください。

- ・11月3日(金) 港区民まつり
(場所: 名古屋港ガーデンふ頭)
- ・11月12日(日) 介護フェア
(場所: イオンモール名古屋茶屋)
- ・1月11日(木) 市民講演会
(場所: 港区役所講堂)

特別写真展
ともに生きる、
ともに暮らす

ともに生きる、最期まで ともに暮らす、この港で

写真展展示写真を募集します

本展では、「あきらむる高齢者の暮らし」を、高齢者の暮らしを支える関係の方々、関係者が共に暮らす姿やその心づかいが写し取られてほしいと願っています。また、身近な高齢者の暮らしや介護の現場を捉えた写真も歓迎です。ぜひご応募ください。

募集期間は、今年度末(11月30日)までです。応募は、インターネット上でお願いします。

応募資格
●港区在住の方(港区に住所がある方が優先です)。
●高齢者の暮らしの中や、その暮らしを支える姿を捉えた写真が中心です。
●写真が、被写体の方に好まれるもの、美しく、暮らしを支えているもの、写真が、写し取られている。
●応募方法は、応募者本人が撮影した写真の作品に限ります。
●撮影が、1枚または2枚のデジタルデータでお願いします。
●写真のサイズは10cm×15cmまたは15cm×20cm(縦向き)です。縦向きは200×300mm程度、横向きは300×400mm程度です。写真の枚数は、応募者ご自身の都合で構いません。
●撮影の場について、11月7日、港区民まつりの会場(港)にて、お集まりください。

応募方法
●応募写真を「あきらむる」として、次の必要事項を記入し、写真と一緒に郵送してください。
●応募者ご自身の住所、氏名、年齢、性別、電話番号、Eメール、郵便番号、〒460-0001 名古屋市港区南港1-1-1 港区在宅医療・介護連携支援センター 写真展受付係 宛に送付してください。
●応募期限は、11月30日(金)までです。この期限を過ぎた場合は、応募ができません。
●応募された写真が、本展に採用された場合は、応募者ご自身の都合で構いません。
●採用された写真の著作権は、本展に譲渡されます。また、本展の開催に際しては、写真の複製・転載をさせていただきます。
●採用された写真の著作権は、本展に譲渡されます。また、本展の開催に際しては、写真の複製・転載をさせていただきます。
●採用された写真の著作権は、本展に譲渡されます。また、本展の開催に際しては、写真の複製・転載をさせていただきます。

応募締切 2017年9月30日(土) 24:00 必着

でこぼこ座スケジュール

練習日: 毎月、第2火曜日、第4水曜日

(場所) 港区在宅医療・介護連携支援センター
名古屋市医師会看護専門学校1階

次回公演: 平成30年1月11日(木) 14:00~

(場所: 港区役所講堂)